



校長あいさつ

校長 平良 智枝子

ここ宮古島では、4月22日に開催される第34回全日本トライアスロン宮古島大会へ向けて、多くの方々が来島し沿道には応援ののぼりや横断幕が至る所に張り巡らされ大変活気づいています。本校からもボランティアとして約400名の生徒職員が参加し大会を支援します。一年に一度の『島が燃える日』、挑戦するすべての選手の皆さんの健闘を祈ります。

さて、本校は、昭和3年に県立第二中学校分校として設立され、今年で創立90周年の節目を迎える宮古地区の拠点校であり歴史ある進学の実績校です。12月1日には、創立90周年記念教育シンポジウム、式典、祝賀会が予定されていますので、多くの皆様方のご来場をお待ちしております。文武両道の校風と校訓「知性の啓培」「徳性の涵養」「体力の練磨」のもと教育活動が展開され、学校は大変活気があり生徒達は生き生きと学校生活を送っています。現在、一学年 普通科5クラス、理数科2クラス、合計21クラスで全校生徒数は792名です。これまでに、24,432名の卒業生を輩出しており県内外で活躍しております。

昨年度の進路実績につきましては、卒業生280名中、国公立大学26名（琉大医学部医学科を含む）、難関私立大学11名（上智、慶應義塾、法政、国際基督教大学等）を含む大学進学者が144名（51.4%）、短大・専門学校進学者が88名（31.4%）、就職14名、留学2名で進路決定率は88.6%です。部・同好会活動では、体育系が24、文化系が10、同好会が6あり、加入率は約85%です。顕著な実績としましては、九州大会に出場したのが、陸上、バレーボール、自転車、美術、写真、かるた部で、全国大会出場は、ウエイトリフティング、ダンス、卓球、吹奏楽、放送部です。特にウエイトリフティング部は、7年連続の全国大会出場と過去2回の全国優勝をはたしております。生徒会活動も活発で、生徒会行事や学校行事等に自主的主体的に取り組む姿勢は高く評価されています。また、国際交流も姉妹校の台湾台北市立復興高級中学をはじめとして沖縄県や宮古島市の事業等多くの生徒が挑戦し参加しております。

21世紀現在、知識基盤社会、グローバル化・高度情報化社会の真っ只中にいます。ここ数年、人工知能ブームが加速化しておりさらなる拍車がかかっています。また、国においては、高大接続システム改革が推進されており高校教育改革、2020年度（平成32年度）の新大学入試センター試験の実施、さらに、学習指導要領が全面改訂され高等学校は、2022年度（平成34年度）から年次進行で実施されます。不確実な変化のはげしい社会が待ち受けています。このような激動の時代を逞しく生きる力を身につけさせ、自己実現・進路実現出来る生徒の育成へ教職員一丸となって教育活動に邁進する所存でございます。

引き続き、本校教育に対する皆様方のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年4月